

# 人生ハンド仏句

第149号

H. 26. 8. 1

(毎月1日発行)

## お盆と仏壇

住職 谷川寛俊

お盆も間近となりました。この季節多くの日本人にとって否が応にも気になるのが仏壇だそうです。スーパ―の店頭に並ぶお盆飾りは季節商品でもあります。『ご先祖様をお迎えしなさい。』と日頃の無信心者への啓蒙にも一役かっているのです。』とお話し下さったのが知人の仏壇屋さんです。

「ところでお盆と仏壇は、お寺さんからするとごく当たり前のように慣れ親しんだ風景でしょうけど、今や多くの現代人にとっては死生観の原風景を形作る数少ない場になりつつあるのでは……？」と熱く語ってくれました。彼の故郷(岐阜県)は山の中腹にある共同墓地(土葬)でした。お盆が近づくともまずお墓の掃除から始まり、それ

は、実に印象深い経験だったようです。そのお墓は、樹が茂る細い山道にあり、昼間でも薄暗くて気味が悪い場所です。墓地につくと今度は足元が気になります。それは土葬なので、気が気でならなかったとのこと。しかし墓掃除を終えて家に帰ると一転、心が澄み渡る光景がありました。それは仏壇です。

お盆飾りと水色の回転式の盆提灯が祀られ、盆提灯が回る度に、涼やかな色と絵柄が畳表や障子に映る。墓場での死の恐怖心と、まったく逆の清浄な風景は一体となって毎年、心に刻み込まれたものです。今では、忙しくあまりお盆に帰省する事はなくなりましたが、だからこそ、この記憶が先祖伝来の死生観とを結ぶ「絆」のようにも感じます。

しかし、果たして今後はどうなるのでしょうか？と嘆いていました。昨年六月に三十代、六十代の男女六

「人生ハンド仏句」と打ち込んで頂けば、ホームページにつながります。

編集・発行 玉蓮山 真成 寺  
編集部 谷川久仁子  
TEL・FAX 0765-22-2268

00人を対象にしたアンケート調査によると、六割の家に仏壇がないという結果が出ていました。

これは都会における調査対象ですから、何とも言えませんが、更にマンションにおける仏壇に関するアンケートでも実に八割は仏壇がないとの結果が出ています。

なぜ仏壇を置かないのか、上位三位が「置き場所」「無宗教」「他の兄弟が祀っているから」又、仏壇購入時に気になる点として、上位三位の回答が「大きさ」「金額」「置き場所」でした。

将来そうした回答者がもし「置き場所」などの理由で仏壇を置かないとするとうなるでしょう。その子供や孫にもお盆と仏壇の光景は、当たり前でなくなるのは明らかです。

「ホームチャーチ」とも呼ばれる仏壇が、家がないのが当たり前になるかも知れない時代、今後日本

人の死生観は一体どうなっていくのでしょうか。  
我々寺院方の奮起が今後、問われてくるものと思います。

## 合掌は花のつぼみ 合掌の人生に花ひらく